

平成22年度第3回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

[開催]

開催日時 平成22年10月23日(土) 14:00～15:57

開催場所 緑保健福祉センター2階 大会議室

出席者 委員19名中12名出席
事務局8名

[次第]

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題
 - (1) 計画に対する意見聴取(高齢者対象)
 - (2) 第2期緑区地域福祉計画(案)の検討
 - ①素案の内容の確認
 - ②市民説明会について[地域福祉課]
 - (3) 平成22年度緑区地域福祉計画等の推進について
 - (5) その他
- 4 閉会

[議事及び質疑要旨]

議題(1) 計画に対する意見聴取(高齢者対象)

土気地区 井内政雄氏(元緑区地域福祉計画地区フォーラム土気地区委員長)

おゆみ野地区 松田汎司氏(千葉市民生委員・児童委員協議会副会長、
緑区民生委員・児童委員協議会会長)

椎名地区 田中勘十氏(緑区民生委員・児童委員協議会第503地区会長)

誉田地区 徳田重雄氏(緑区地域福祉計画推進協議会委員、千葉市老人クラブ連合会)
から、下記について、それぞれの意見が出された。

- 1 自己紹介
 - ・現在の役職とその役職から見た高齢者の問題
- 2 第2期計画への要望
 - ・コミュニケーション
 - ・施設の活用
 - ・緊急時の支援・対応
 - ・身近な生活支援
 - ・交通対策
- 3 高齢者の福祉活動への要望
 - ・地域でできることはなにか
 - ・ボランティアへの参加、お誘い等
- 4 まとめ

土気地区（井内）

〔提案の骨子〕高齢者福祉を推進するためには、小グループ単位の活動と皆さんが集まることができる近隣の場所が必要です。話し合い（おしゃべり）の場を大切にしたい。

ふれあい・いきいきサロン（14ヶ所）を始め、ふれあい食事サービス（2ヶ所）を実施している。土気地区は、地域が広いので、利用者の自宅から近いところの開催場所に参加していただいている。町内・自治会の協力を得ながら実施している。また、ふれあい・いきいきサロンでは、保健師や栄養士による健康相談なども行われている。その他、健康講演会（年2回）も実施しながら、高齢者の健康維持に努めている。また、ボランティアの研修会や交流会も実施している。

おゆみ野地区（松田）

〔提案の骨子〕新しい地域なので、まず知りあう、語り合う、呼びかけ合うことが地域活性化の第一歩。そのためには地域コミュニティの場がどうしても必要でありそういった場を設置し、支援してほしい。

高齢者実態調査にて、おゆみ野地区は比較的若い。また、新興住宅地でもあり、そのためか、自治会加入率は低い。敬老会を実施するにも場所がないため、参加者も少ないのが現状である。

しかし、ふれあい・いきいきサロンについては、参加者が増加している。また現在は、老人クラブの設立の動きもある。

椎名地区（田中）

〔提案の骨子〕高齢者は、団体等の呼びかけだけでは集まらない。地域に出てきた少人数による、ひざを交えての対話が必要である。難しい話ばかりでなく、具体的に高齢者が抱えている問題を話してほしい。私たちのクラブには認知症の方もいるが、休みなく参加することによって症状が安定している。場と機会と話題内容を大事にした高齢者福祉を考えてほしい。

お手伝いをしていただける人が少ないため、高齢者を1ヶ所に集めて、イベントを行うのは難しい。よって、小さなグループで活動できるように努めたい。

また、朝から夕方まで、週2回ゲートボールを行っている。60歳以上94歳までの高齢者が参加しており、中には認知症の方もいる。

誉田地区（徳田）

〔提案の骨子〕老人クラブが減少していることは、クラブの在り方を考える時期ということである。今は70歳くらいまで働いている人が多い。この中で、高齢者の生きがい、社会への参加の在り方を考えていかなければならない。高齢者のニーズに合った老人クラブを考えることが大切である。

老人クラブへの加入者、団体は減少している。行政にも是非、設立に力を入れていただきたい。

また、老人クラブでは、ゲートボールを行っている人は減少している。また、町内会の協力を得ながら、施設を活用している。

委員A：椎名地区にて、一日中、ゲートボールを行うのに、トイレはどうしているのですか。
田中：地元の地主さんから、仮設トイレ設置場所を提供していただいております。
委員B：土気地区でのいきいきサロンへ参加している方々は、どのような方法で来ているのですか。
井内：ほとんどの方々は歩いて来ています。
委員C：おゆみ野地区にて、いきいきサロンの活動拠点はどこですか。
松田：おゆみ野公民館や鎌取コミュニティセンターです。
委員C：土気地区にて、ボランティア研修会や交流会は定期的に行っているのですか。
井内：そうです。
委員D：土気地区、おゆみ野地区でのそれぞれのボランティアの平均年齢は、どれくらいでしょうか。
委員E：土気地区では、60歳半ばから後半くらいです。
松田：おゆみ野地区では、60歳前後であり、子育ての終わった方です。
委員D：ボランティアについての教本のようなものはあるのでしょうか。
事務局：冊子はありませんが、パンフレットやチラシはあります。
委員C：おゆみ野地区にて、ボランティアが清掃活動をやっていると聞いたのですが、もし、知っていたら教えて下さい。
委員F：おゆみ野まちづくり協議会の環境部会がやっています。これは、地域住民が比較的簡単にできる、ボランティア活動はないものかと考え、清掃活動を行っています。また、泉谷公園から大百池広場までの間を掃除しながら、環境について考えています。
委員C：これは、自治会でもやっているのでしょうか。
委員G：自治会組織ではやっていませんが、協力していただいている自治会もあります。

議題（2）第2期緑区地域福祉計画（案）の検討

①素案の内容の確認

②市民説明会について

委員A：第2期緑区地域福祉計画（案）の概要についての、3 第2期緑区地域福祉計画の概要にある、「基本方針」「地域住民の（以下略）・・・まちづくりを（以下略）」にある、「を」の文字を削除して下さい。

事務局：修正しておきます。

委員C：市民説明会については、どのような方法で周知されていますか。

事務局：10月から千葉市のホームページに掲載したり、10月15日号の市政だよりも掲載しております。

議題（4）平成22年度緑区地域福祉計画等の推進について

特に意見等なし。

議題（5）その他

第3回 見直し委員会

11月20日（土） 午後2時 緑保健福祉センター

第4回 緑区地域福祉計画推進協議会

12月11日（土） 午後2時 緑保健福祉センター